

# お お ぞ ら

No.33 (150)

社会福祉法人 聖隷福祉事業団  
総合病院 聖隷三方原病院  
聖隷おおぞら療育センター

〒433-8558  
静岡県浜松市北区三方原町3453  
TEL 053-437-1467

発行責任者 荻野和功  
編集者 横地健治

2012年6月1日

## 生きがい活動

所長 横地 健治

今回も重症心身障害児(者)にとって施設での良い生活とは何かについて考えてみます。達成感・満足感が感じられる活動が最も価値があるとして振り返ってきました。それ以外の生活行為にはどんなものがあり、どんなことに配慮したらいいかについて述べます。

小児では、重症心身障害があっても教育は意義深いものです。教育とは、その子の可能性を最大限引き出すための能力開発が基本にあると思います。教育のなかで行われる社会ルールの習得もこれに含まれると理解します。重症心身障害の小児では、この教育に相当の時間が割かれるべきです。この専門性を持つのは学校ですが、施設入所している小児では、能力開発のためのプログラムが生活の中に位置づけられている必要があります。

ための収入を得る行為、すなわち仕事をする時間が、生活の主要な部分を占めることとなります。この仕事が健常成人にとってどういう意味を持つのかは様々です。仕事が生きがいの人もいます。

（この方が理想的な人生だと私は思います）。仕事はお金を得るためだけのもので、生きがいは仕事から解放された時間にあるという人もいます。しょう。いずれにしても、重症心身障害成人に、健常者と同じ意味での仕事は存在しません。しかし、「自分はこんな人生を送って良かった」と思えるような人生経験をしてもらわなければ、その人のいのちの尊厳を護ったとは言えません。そんな人生経験に相当するのが、活動のなかで達成感・満足感を感じてもらうことだと考えます。こうした活動が、日常生活のなかで最高の価値を占める「生きがい活動」です。なお、私たちの施設で単に「活動」と言う場合は、まずこれを指しています。この活動では、職員が一对一で関わることを原則としています。

これに対し、受け身的に過ごす時間帯の様々な生活行為は「一般的活動」と呼んでいきます。散歩に出かけている、流されているテレビ・ビデオを見ている、流されている音楽を聞いている、外界をぼんやりと眺めている、こうした状態を指しています。この時は、心地よさを感じてもらえればいいと考えています。職員の関わりも薄くなりますが、見守りは続けます。このなかで、本人が新しい興味関心を持ったなら、それを見逃さないように意識しています。

自傷や他害などの問題行動がある人に、ある行為をするように促すと、そちらに気が行き、問題行動が起きなくなることがあります。こうした「問題行動対処行為」が必要になることもあります。また、その人の良い生活のために、ある機能を向上させたいと思える場合は、成人でも「治療教育的行為」を行うことがあります。

も求められます。そして、この基盤の上に、前述の良い活動がのって、はじめて良い生活が成り立ちます。

また、多くの重症心身障害児(者)には医療的ケアが必要となります。これは、生活の基になる命をつなぐためのものです。これに対しても、看護師と本人の多大な労力と長い時間を要します。同じく、リハビリも身体機能を維持するために生活のなかに必要なものです。

生活は目覚めた状態で営まれるものですが、そのためには良い睡眠が基礎になければなりません。重症心身障害児(者)に良い睡眠を保障するのも容易ではありません。これにも姿勢管理、呼吸管理、薬物療法などの専門性が求められます。

施設入所している重症心身障害児(者)に良い人生を送ってもらうためにはどうしたらいいかの問いに対し、私たちは以上のように考えています。こうした考えにそって、個々の重症心身障害児(者)に最適な活動課題、生活行為を選んできます。そして、それを実践した結果は厳格に評価し、最良の生活に近づけていくつもりです。